

# 東京政策選手権決勝大会 政策比較表

しばすけぶ

芝高等学校 | 港区

My Local, Your Tokyo  
高校生と見つける東京の  
新しい魅力

ウイステリアーズ

十文字高等学校 | 豊島区

児童虐待を防ぐ「ネウボラ」拠点の整備と同一担当制による子育て支援

放課後スクランブル

渋谷教育学園渋谷高等学校 | 渋谷区

Silent Signal Tokyo :  
沈黙を検知する積極的な  
教育支援

Cascade

聖学院高等学校 | 北区

STAY SHELTERの誘導：  
発災後デジタルとポップ  
カルチャーが命を救う

課題	東京の主要観光地へのオーバーツーリズムと高校生が生きた英語に触れる機会の不足している。	支援が必要な家庭ほど支援につながりにくい構造、相談窓口の分散や、申請主義による取りこぼしがある。	首都直下型地震発生時の帰宅困難者の誘導・統一の困難さと、3日間の滞留ルールの認知度が低い。	「相談できない子供」の存在と、相談窓口は声を上げた子供だけを救う制度的な受け身の問題。
政策	高校生が外国人観光客に英語でオススメの場所を提案する交流型プラットフォームを、官民連携で構築。	妊娠期から小学校卒業まで切れ目なく支援する「ネウボラ拠点」の設置と、各家庭に同一の担当保健師制度を導入。	既存のデジタルサイネージとポップカルチャーを組み合わせ、帰宅困難者を一時滞在施設への誘導を促す。	本人・保護者同意のもと学校生活データを活用し、子供の変化を早期に検知して支援に繋げる仕組み。
施策	観光相談に応じるチャット機能を提供し、AIで禁止ワードのフィルタリングや通報機能・ログ管理で安全性を確保。	チャットボットが初期対応を行い、内容に応じて担当保健師へ引き継ぐ。情報を一元管理し、取りこぼしを防ぐ。	交通系ICやパスポートで受付・安否確認を行い、属性に応じて避難誘導の情報を提供・最適化する。	AIが本人の変化を検知し理由を分析・教員へ声かけ案を提案。匿名集計で相談できない状態を可視化させる。
目標	観光客の分散で混雑やゴミ問題の改善、教育格差のない国際交流機会の創出。非主要観光地外の訪問率向上を目指す	孤立しがちな家庭が早期に支援とつながり、児童虐待の発生と深刻化を未然に防ぐ。また、地域差の解消を目指す。	屋外滞留の抑制により緊急車両の通行確保や二次災害リスクの軽減、職員負担の軽減を図り、生存率向上を目指す。	声を上げられない子供にも制度から近づく支援体制を実現。相談窓口のDXではなく「支援接続のDX」を目指す

Instagramと特設ページで詳細版を公開しているぞ！要チェックだ！